



宮中祭祀「新嘗祭」に粟を献上された生産者の方へ、 宮内庁掌典長からの書状をお渡しします

令和3年の新嘗祭に、松本市奈川地区で生産された「粟」が献上されました。
今回の献上に対し、宮内庁から長野県に書状等が送られてきましたので、
下記の日程で松本地域振興局長からお渡しします。

なお、松本地域からの粟の献上は15年ぶりとなります。

1 日時

令和4年1月12日(水)午後1時30分～

2 場所

松本合同庁舎 局長室(合同庁舎3階総務管理課内)

3 献穀者

橋本 実嗣(はしもと みつぐ)氏 (松本市奈川地区)

4 その他

(1) 新嘗祭(にいなめさい)

皇居で毎年11月23日に天皇が新穀を神々にお供えになり神恩を感謝する祭典で、長野県からは粟と米が献穀されています。

松本地域では、平成18年に献上して以来15年ぶりの献穀となります。

(2) 今年の献穀について

献穀に当たり、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、天皇陛下に直接ご会釈することはできず、宮内庁へ粟を送る形で献上しました。

(3) 粟について

献穀した粟は、長野県農業試験場が育成した「あわ信濃2号」という品種を使用しました。

信州版「新たな日常のすゝめ」



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

©長野県アルクマ

〒390-0852 長野県松本市大字島立1020

長野県松本農業農村支援センター

(所長) 三田 毅 (担当) 小林佳昭

電話: 0263-40-1916 (直通)

0263-47-7800 (代表) 内線 2415

FAX: 0263-47-7822

E-mail matsumoto-nosei@pref.nagano.lg.jp